

栄誉 全国の舞台で 活躍

真城小学校（渡辺唱光校長、児童302人）のバトンクラブは、12月8日に千葉県の幕張メッセで開催された第41回バトントワリング全国大会で、初出場ながらも見事金賞を受賞しました。同クラブは、学校内で結成したチームが対象の小学校の部バトン編成に出場。最優秀賞のPL学園小学校（大阪府）には及びませんでした。金賞受賞条件の審査得点80点をクリアする素晴らしい演技を披露しました。秋山紗奈部長と中村香保子副部長（ともに6年）は、満面の笑みで教育長に金賞受賞を報告しました。



金賞受賞を喜ぶ紗奈さん（左から2人目）と香保子さん（左から3人目）

- 宝くじが身近な事業に役立っています -

宝くじ助成で 災害への備えを



市は、財自治総合センターの宝くじ収益金を活用したコミュニティ助成事業により、地域の防災活動に必要な設備を整備しています。

本年度、江刺区の向山自治会自主防災会が180万円の助成を受け、消火栓ホース格納箱などの整備を行いました。

■問い合わせ 本庁危機管理課防災保安係（内線 223）



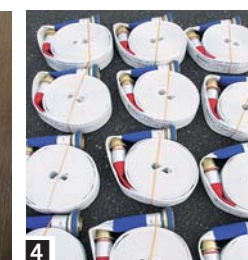
1



2



3



4

1 折りたたみ式担架 2 消火栓ホース格納箱 3 AED 4 消防用ホース

祝 百歳おめでとう

市は、12月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

土谷ミトリさん（胆沢区若柳字野山田）は同区若柳字上鹿合に生まれ、20歳のころ故・長寿さんと結婚。6男3女をもうけ、孫7人に恵まれました。営林署に勤めていた長寿さんが亡くなった後、農業をしながら女手一つで子ども9人を育て上げました。

耳が遠くなったものの、新聞を読むことが日課というミトリさん。天気の良い日は散歩もします。長寿の秘訣は「よく働いたことと、好き嫌がなく何でも食べているから」



家族に囲まれ、喜ぶミトリさん

では」と、長男の長一さんが話してくれました。

柏崎金司さん（水沢区上姉体）は西和賀町に生まれ、27歳のときヒサさんと結婚。2男2女をもうけ、孫4人、ひ孫4人、やしゃご1人に恵まれました。

趣味は書道で、現在も入所している施設の献立表を作成することも。食べることが好きで、好物はおふかし。ビールも大好きで、夕食前の晩酌を毎日楽しみにしています。長寿の秘訣はたくさん食べること。「今日はありがとうございまして」と、金司さんは感謝の言葉を話しました。



ローソクの火を吹き消す金司さん



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下「ILC」計画）について最新情報をお届けします

希望の ひかり

第15回

東北ILC推進協議会は昨年12月、仙台市のインターナショナルスクールなどを視察しました。今回は、この視察の様子などをお知らせします。

インターナショナル スクールを視察

東北ILC推進協議会（代表・里見進東北大総長、高橋宏明東北経済連合会長）の会員など約40人は12月11日、宮城県仙台市の東北インターナショナルスクール（ジェームズ・スチュワード校長）とホライゾン学園仙台校（アルク・パリッシュ校長）を視察しました。この視察は、ILC誘致が実現すると、外国人研究者の子弟を受け入れる教育環境の整備が必要となることから、将来的なインターナショナルスクール整備の参考に実施したもの。本市を含めた自治体関係者も参加し、イン

ターナショナルスクールへの理解を深めました。

はじめに訪れた東北インターナショナルスクールでは、幼稚園課程から高等課程までの全ての授業を英語で行っている様子を見学しました。学校法人南光学園が運営する同校は、1950年代に設立したクリスチャンアカデミーが前身。89年にアメリカンスクールとなり、97年に宮城県からの依頼によりインターナショナルスクールとして開校しました。卒業後に世界中の大学入学資格を取得できる米国西部地域私立学校大学協会（WASC）の認定などを受けている同校。現在は20カ国、4歳から18歳までの約80人の子



ホライゾン学園仙台校での授業の様子

どもたちが学んでいます。スチュワード校長は、ILCについて「岩手県内に中央研究所ができれば、サテライトスクールを開校し、ネット中継などで授業を行うこともできる」と期待を述べました。

次に訪れたホライゾン学園仙台校では、外国人教員による英語での指導が行われている幼稚園の様子を見学しました。同校は、平成24年4月に

出前講座を実施しています

市は、市民の皆さんにILCの仕組みやその意義の理解を深めていただくため、職員を派遣して出前講座を実施しています。

先月、岩谷堂地区振興会役員・行政区長合同研修会や広瀬第6区自治会、八幡地区かぜの子学級で出前講座を実施しました。大人だけでなく、子どもを対象とした内容など、それぞれ希望に沿った出前講

ILC推進3市連絡会議を奥州市で開催

座を行いますので、お気軽にお問い合わせください。

ILC建設予定地となっている本市、一関市、気仙沼市の3市が、情報共有や連携を図るために設置しているILC推進3市連絡会議を12月25日に市役所で開催しました。この会議では、インターナショナルILCサポート委員会のビル・ルイス委員長をアドバイザーに迎え、外国人の受入態勢などについて意見を交換。ルイス氏は「外国人と日本人の双方が暮らしやすいまちをつくるのが大切」と指摘しました。



出前講座で楽しく実験する子どもたち